

長崎県作業療法研究 ～投稿規定～

■ 投稿規定

1. 本誌の目的

本誌は、長崎県作業療法士会の学術誌として、作業療法やリハビリテーションの関連領域における研究の報告の場を提供することを目的とします。

2. 投稿資格

本誌への投稿は、投稿者のうち少なくとも1名（共著者でも可能）は、本会会員であることとします。但し、編集委員会の決定により会員外の著者に投稿を依頼することができます。

3. 投稿記事の種別

投稿記事の種別は、作業療法やリハビリテーションの関連領域の学術的発展に寄与する論文として、「総説」、「原著論文」、「実践報告」、「短報」の投稿を随時受け付けます。ただし、他誌に発表された論文、または投稿中の論文はお断りします。

この他、設定されたテーマに沿った依頼論文である「特別寄稿」、自助具や検査器具及び遊具などの使用や新しいアイデアを紹介する「OTの工夫」欄、職場や研究グループの仲間などについて紹介する「私の仲間」欄、掲載論文へのコメント等を述べる「意見」欄、研修会等の実施や体験について報告する「印象記」欄への投稿も受け付けます。

4. 投稿記事の種別と規定枚数について

1) 総説：

国内外の作業療法および関連する医療・保健・福祉の動向、政策、潮流など時宜に合った話題に関する総括的解説および提言。作業療法およびリハビリテーションの関連領域の特定のテーマについて、過去の研究を概観し、将来的展望を視野においた組織的な論評および総括。

論文の長さは、本文と文献のみ（図・表なし）の場合、A4サイズ（40字×40行）8枚（12,800字）とします。図・表は10点以内とし、図・表がある時は大きさにより、本文と文献の文字数を減らしてください（全体で12,800字の内、最大サイズの図1枚（1,800字分）と表1枚（3,000字分）がある時、本文と文献は5枚（8,000字）となる）。図・表の基準は執筆要領10を参照してください。

2) 原著論文：

実験、調査、臨床経験、理論研究などから得られた独創的で斬新な知見を含む結果の考察および記述。

論文の長さ、図・表は1) 総説の規定に準じます。ただし、図・表がある時は大きさにより、本文と文献の文字数を減らしてください。

3) 実践報告

特色ある作業療法実践（事例報告を含む）に焦点を当てた報告。治療手段としての活動、道具（自

助具、遊具、生活用具)、情報、アイデアの紹介。

論文の長さは、本文と文献のみ(図・表なし)の場合、A4サイズ(40字×40行)6枚(9,600字)とします。図・表は1)総説の規定に準じます。ただし、図・表がある時は大きさにより、本文と文献の文字数を減らしてください。

4) 短報:

独創性のある所見、見解の速やかな発表を期待するパイロット的研究報告。後に詳しい「原著論文」として書くことが期待されます。

論文の長さは、本文と文献のみ(図・表なし)の場合、A4サイズ(40字×40行)2枚(3,200字)とし、図・表は2点以内としてください。ただし、図・表がある時は大きさにより、本文と文献の文字数を減らしてください。

5. 倫理的事項

著者は、著作権や研究対象者の人権尊重に努めてください(文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を参照)。論文に関連する企業や営利団体等との利益相反(COI)がある場合は、その内容について登録してください(厚生労働省の「研究に関する指針について」を参照)。また、助成金(資金援助)を受けた場合は、それが特定できる番号を登録してください。

6. 原稿の採否

原稿は2名の査読者によって査読し、原稿の採否は編集委員会で決定します。場合により、加筆、修正をお願いすることがある。また編集委員会の責任において、多少の字句の訂正をすることがあります。

7. 査読結果の通知

査読結果は、学術局から投稿者に通知し、「修正」や「不採択」の場合にはその理由を明記しています。

8. 執筆形式の確認

この規程の他、次項に示す執筆要領にそっていることを確認して下さい。

9. 原稿の送付先および連絡先

査読及び編集作業を効率的に行うため、原稿は原則としてデータファイルにてE-mailにて下記宛にお送り下さい。投稿論文に関するご質問は、編集委員会までご連絡ください。

E-mail: nagaku-sadoku@nagasaki-ot.com 編集委員会(学術局内)

長崎県作業療法研究 ～執筆規定～

■執筆規定

1. 論文の構成は、標題、著者情報、抄録（要旨、日本語）、キーワード（日本語）、本文と文献、図・表とします。
2. カバーレターを用意する必要があります。カバーレターには、以下の①～⑦をMS-WordのA4サイズ横書き（文字サイズ・書体・書式は自由）で記載してください（長崎県作業療法士会ホームページの学術誌編集委員会ページで「カバーレターサンプル」が参照できます）。
 - ①投稿日、②論文標題、③論文種別（総説・原著論文・実践報告・短報のいずれか）、④主要な研究結果とその重要性（投稿する研究結果がその分野の知識をどのように発展させられるのか）、⑤作業療法もしくはリハビリテーションの学術的発展に寄与する理由、⑥筆頭著者の氏名および連絡先（メールアドレス）、⑦責任著者の氏名および連絡先（メールアドレス）。
3. 本文と文献はMS-Wordで作成し、A4サイズ横書き40字×40行（印刷の向きは縦）に書式設定し、行頭に行番号をつけフッターにページ番号を挿入して、文字サイズは10.5ポイント、書体はMSP明朝としてください。本文は、原則として、目的、方法、結果、考察、結論が明らかになるように書いてください（特に「原著論文」の場合）。文献リストの書き方は下記の10を参照してください。
4. 表題頁には、表題、著者名（原則5名まで、「原稿投稿規定」を参照）、所属、キーワード（日本作業療法士協会学術部によるキーワード集を参考に3～5個）を記載して下さい。また、表題、著者名、所属を英文で表記してください。
5. すべての論文に400字以内の要旨をつけて下さい（短報、実践報告の場合も同じ）。英文の要旨は必要ありません。
6. 文章表現は以下の点に留意して下さい。
 - ①現代かなづかい・算用数字とし、国際単位系（SI単位）記号を用いてください（例：m, cm, mm, ml, kg, cm² など）。
 - ②外国人の人名は、原語で表記してください。
 - ③学術用語はできるだけ訳語を用い、必要なら（ ）内に原語を入れてください。日本語化していればカタカナとします。
7. 倫理上の配慮について

論文として掲載される研究は、調査・研究の倫理的原則に従ったものである必要があります。投稿者は研究対象者の権利を尊重した表現を行う義務があります。編集部は必要に応じて、これらの事項に関する証明を投稿者にお問い合わせすることがあります。

8. 引用・転載について

論文作成にあたっては、著作権についての配慮を行ってください。論文中に他の著作物からの引用を行うときには、その出典を明記してください。また、引用の範囲を超えた「転載」には著作権やその著作物の出版者の許諾が必要です。論文が掲載されるために必要となる「転載」についての手続きは、投稿者が責任を持つこととします。

9. 文献リストは引用文献のみとし、筆者の姓のABC順または引用順に配列して下さい。筆者名は5名までを記載し、6名以上は“他”とすることを原則とし、表記の形式は以下にならして下さい。

- 1) 岩間孝腸, 原 英修, 清水 一: 座位保持機能未獲得な重症心身障害児の姿勢と感覚遊び刺激に対する反応. 作業療法 11: 358-365, 1992.
- 2) 中村隆一, 齊藤 宏: 基礎運動学. 第3版, 医歯薬出版, 東京, 1987.
- 3) 米倉豊子: 内科的疾患に対する作業療法. 原, 鈴木・編, 作業療法各論 (リハビリテーション医学全書 10), 医歯薬出版, 東京, 1978, pp.393-406.
- 4) Witt A, Cermak S, Coster W: Body part identification in 1-to 2-year-old children. Amer J Occup Ther 44: 147-153, 1990.
- 5) Enna CD: Peripheral Denervation of the Hand. Alan R Liss, Inc., New York, 1988.
- 6) Reid J: Computer and occupational therapy. In Creek J (ed), Occupational Therapy and Mental Health. Churchill Livingstone, New York, 1990, pp.267-288.

10. 図・表は次の点に留意して下さい。

図・表の文字サイズは8ポイント、書体はMSPゴシックとします。学術誌『作業療法』の1ページを図・表の最大サイズとし、図は最大で縦250ミリ×横165ミリ(本文と文献の1,800字分)、表は最大で1行60字×50行(本文と文献の3,000字分)。次の点にも留意してください。

- ①図は白黒で印刷されるので、白黒でも区別がつく鮮明なものを準備し、そのまま製版することを想定した大ききで作成してください。
- ②写真(図として扱う)は、カラー掲載しない場合には白黒とし、トリミングを工夫してください。
- ③図・表はすべて図・表の番号とタイトルをつけ、図は説明文も入れてください。
- ④本文中に図・表の挿入場所を記載してください(例:…の結果を図1に示す。または…の結果を示す(図1)。など)
- ⑤引用・転載の図・表は、それぞれの出典を明記してください。
- ⑥必要がない限り、表に縦線は使用しないでください。

以上

【参考資料：カバーレター】

[投稿日]

長崎県作業療法士会学術誌「長崎作業療法研究」編集委員会
委員長 光永 済 様

新規投稿論文について

拝啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

さて、この度私たちは論文「論文標題を記載」を学術誌長崎作業療法研究へ[原著論文・実践報告・総説・短報のいずれか]として投稿いたします。

本論文では、主に[新規性のある主要な研究結果]について論じております。この知見は、[作業療法のどの領域に、どのように]に貢献するものと考えております。

なお、本論文につきまして、他誌に未発表のものであり、投稿する内容は全ての著者より同意を得ております。原稿を送付いたしますので、ご査収の上、審査いただきますようよろしくお願いいたします。

ご不明な点などございましたら、連絡先までご連絡いただければ幸いです。
重ねてご指導、ご高配くださいますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

筆頭著者

[所属機関名][氏名][メールアドレス]

責任著者

[所属機関名][氏名][メールアドレス]